



平成 27 年 8 月 21 日

各 位

会 社 名 株式会社アイロムグループ
代 表 者 名 代表取締役社長 森 豊隆
(コード番号 2372 東証第一部)
問 合 せ 先
役 職 取締役 経営企画本部長
氏 名 谷田 洋平
電 話 03-3264-3148

当社子会社による英国 Newcells Biotech Limited 社向け研究用 iPS 細胞由来 分化細胞の供給・販売等を目的とする技術実施許諾契約締結のお知らせ

当社の 100%子会社である株式会社 ID ファーマ(以下、「ID ファーマ」という)は、ID ファーマが所有する CytoTune®-iPS(※1)を用いて英国 Newcells Biotech Limited 社(以下、「ニューセルズ」という)が研究用 iPS 細胞を作製し、その iPS 細胞由来分化細胞を製品として供給・販売すること等を許諾する契約を締結したことを下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 契約の概要

ID ファーマはニューセルズに対して、ニューセルズが CytoTune®-iPS を用いて iPS 細胞を作製すること、それにより得られた iPS 細胞を分化させること、それらにより得られた iPS 細胞並びに分化細胞を内部研究および細胞作製受託サービスに用いること、また分化細胞に関しては販売することについて、欧州(EU)を対象とする非独占的な権利を許諾しました。これにより ID ファーマはニューセルズより、契約一時金(試用期間終了後)・年間使用料・iPS 細胞由来分化細胞販売額に対する一定料率のロイヤリティー・ニューセルズが受託するサービス収入に対する一定料率のロイヤリティーを受け取ります。

2. 契約の意義

ニューセルズは iPS 細胞とその分化細胞の製造エキスパートであり、創薬や前臨床試験、疾患メカニズム解析を行うユーザーに対して高い品質の細胞を提供しています。同社は薬剤開発プロセスを加速化するために2014年にニューキャッスル大学からスピンアウトした会社です。その技術は英国で最も実績のある幹細胞生物学の技術や知見をベースにしており、開発チームは英国で最も早く iPS 細胞を樹立したメンバーで構成されています。またそのチームは今後二年半の間に 1,500 種という多くの iPS 細胞株を樹立する計画を持つ欧州におけるリプログラミング(※2)分野における中核的な存在です。本契約締結により、英国をはじめとする欧州において CytoTune®-iPS を利用した基礎研究や再生医療の開発が加速されることが期待されます。

ID ファーマは CytoTune®-iPS を国内外向けにそれぞれ研究用として発売しています。これに加えて本契約のように、研究用 iPS 細胞やそれに由来する分化細胞の供給・販売を行う全世界の事業者に対して CytoTune®-iPS 技術の実施許諾件数を増やすことに注力しています。将来はその利用目的範囲を医療用に拡張することも見込んでいます。

3. ニューセルズについて

ニューセルズの概要は次のとおりです。

会社名	Newcells Biotech Limited
本社所在地	Biomedicine West International Centre for Life, Times Square Newcastle upon Tyne, UK
代表者	Dr. Mike Nicholds
事業内容	創薬や前臨床試験、疾患メカニズム解析を行うユーザーに対して高い品質の細胞を提供

4. 業績に与える影響

本契約締結による当期の業績への影響は軽微と見込んでおります。また、当期の業績予想に変更はありませんが、変更が生じる場合は速やかにお知らせいたします。

※1. CytoTune®-iPS

CytoTune®-iPS は、京都大学の山中伸弥教授の iPS 細胞作製技術と、ID ファーマのセンダイウイルスベクター技術を融合させて開発した iPS 細胞作製キットであり、本キットを用いることにより、一回のみのベクターの使用で線維芽細胞などの体細胞から iPS 細胞を効率よく誘導することができます。特にヒトに大きな苦痛を与えずに採取できる末梢血・血液細胞からの効率的な誘導が可能であり、他の方法と比べて優れた性能を有しています。さらに本キットを用いて作製された iPS 細胞は、元の細胞の染色体上の遺伝子配列を無傷にそのまま維持しており、また iPS 細胞誘導に用いたベクターも残っていないため、国内外の研究者から高い評価を受けております。

※2. リプログラミング

ヒトを含む多細胞生物の遺伝子の構成(配列)は基本的にその生涯を通して同じものですが、発生の過程など必要に応じて発現させる遺伝子を後天的に切り替えています。そのような制御の変化を一般にエピジェネティクスと呼び、これらの細胞の性質を遺伝子導入などによって別の細胞の性質に変化させることをリプログラミングといいます。多くの場合、分化した細胞を未分化な状態に「初期化する」ことを指して使用されています。

以 上